



LINE に関するお問い合わせ
<https://help.line.me>

LINE かんたんヘルプ
LINE ID: @line_help

緊急時に役立つ スマホ・LINE の使い方



“ホットライン”として作られた LINE

スマートフォンで使えるアプリ・サービスは、使い道によって緊急時に役立ちます。

2011年6月に誕生したLINEもそんなアプリの1つ。LINEは、電話回線がつながらなくても、インターネットがつながっていれば、いつでも・どこでも利用できます。家族や友だちなど、大切な人といつでもつながることのできる“ホットライン”としても使えるように、という想いも込めて、「LINE」はできあがりしました。

例えば、「既読」マークは、緊急事態で返信ができなくても、自分のメッセージを読んだことだけでも確認できるように、と付けた機能です。

日常の連絡だけでなく、地震などの緊急時にも活用できるような使い道を知っておきましょう。

いざというときの連絡方法と情報入手方法

緊急時に活用できるサービスはたくさんあります。

災害伝言ダイヤル

電話：「171」に電話をかける

災害用伝言板

災害時にはスマートフォン・携帯電話から災害用伝言板で、自分の安否を登録したり、家族の安否を確認したりできます。

NTT docomo：iMenu または d メニュー → 災害用安否確認 → 災害用伝言板

SoftBank：「災害用伝言板」アプリをダウンロード、または、「My SoftBank」→災害用伝言板

au：メニュー画面→ au 災害対策→災害用伝言板

Twitter

世界中の人が今の状況をツイートしているので、今どこで何が起きているのかを知ることができます

<https://twitter.com/>（ウェブサイトまたはアプリ）

LINEで普段から準備できること

LINEのトーク（メッセージ）機能は、複数人で同時にメッセージの送受信をすることができます。

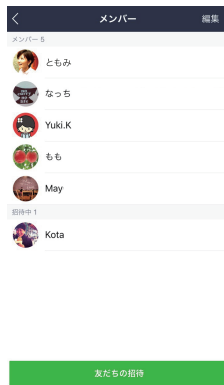
例えば、家族やご近所さんなど、緊急時に協力するメンバーでグループを作っておくと、いざというときの連絡網として便利。すでに、一部の学校や地域では、LINEを保護者や家庭同士の連絡網として利用していただいています。



LINEの「・・・（その他）ページ」
「友だち追加」→「グループ作成」



グループ名をつけて、追加したい人を
招待する



招待した人たちが全員「メンバー」
になったことが確認できたらグループ完成

いざという時に使う情報は「ノート」に保存

避難場所や緊急時の対応など、忘れてはいけない大切な情報は「ノート」機能にあらかじめ保存すると、いつでもすぐに見返すことができます。



グループトークの上部「ノート」を開く



メモしておきたいことを文章や画像、
位置情報などで保存する



保存した情報は、
いつでも見返すことができます

居場所を知らせる

地図で送れる位置情報送信機能
LINE のトーク（メッセージ）や
タイムラインには、住所・地図情
報を送れるので、自分が今いる場
所や集合場所などを正確に伝える
ことができます。トーク画面の
「+」マークから「位置情報」を
選ぶと地図が表示されます。ス
マートフォンの GPS 機能を ON
にしていれば、自分の居場所が表
示され、そのままトーク画面に送
ることができます。



最新情報を得る

「LINE NEWS」の LINE 公式アカウント

大規模な災害発生時などには号外としての緊急情報も届きます。

LINE ID: @linenews



「首相官邸」の LINE 公式アカウント

首相官邸の LINE 公式アカウント。暮らしに役立つ政策情報や、首相官邸にまつわる身近な情報などを配信します。さらに、大災害などの緊急時には、災害関連情報も発信されます。

LINE ID: @kantei



首相官邸



安否を知らせる／知る

自分の現状を知らせる「ステータスメッセージ」は、「友だち」ページで自分の名前の横に表示されます。

そのため、LINEで友だちになっている人全員に見てもらうことができるので、緊急時にも“私は無事、みんな大丈夫？”など入力することで、友だちと状況を伝え合うこともできます。

